

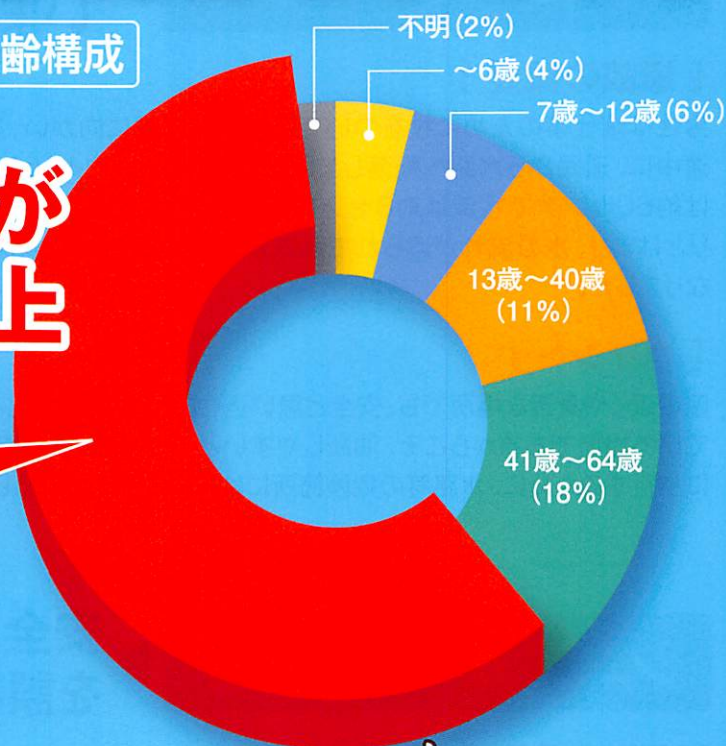
ご存じですか？水路等転落事故の 半数以上は高齢者です！



年齢構成

高齢者が
半数以上

65歳～
(59%)



令和元年度～令和5年度データ(326件)

わたしは落ちないと思っていませんか？

高齢になると筋力や身体機能が低下し、つまづいて転倒することがあり、その際に、周りに水路やため池があると転落してしまうことがあります。

わたしは大丈夫と思わず、気を付けましょう。



夕暮れ時から夜間の外出は特に気を付けましょう！

夕暮れ時から夜間にかけては、周りが見えにくくなり、水路やため池に気づかず誤って転落してしまうことがあります。夕暮れ時から夜間の外出は、特に気を付けましょう。



身近にひそむ命の危険

こんな事が実際に起きています。

水深8cmでも溺れる

▶ 身近な水路でも死亡事故が発生しています。

【事故の概要】

男性は畑仕事のために杖をついて自宅そばの畑に向かい、家に帰る途中に、道路から水路へ転落しました。水路の幅は約40センチ、深さは約60センチで水深は約8センチでしたが、体や顔が水路にぴったりとはまり、水の流れが遮られて水深が上昇したことが溺れる原因になりました。

【ポイント】

家の近くや身近な場所でも、安全と思い込むことは危険です。また慣れている場所であるからこそ、油断しやすいという側面もあります。安全に歩行するために、水路等の危険箇所には常に注意を払いましょう。



シニアカーでも転落

▶ 安全と思っているシニアカーでも操作を誤るなどにより転落しています。

【事故の概要】

男性は道路から約3.3メートル下の川にシニアカー（高齢者用のハンドル型電動車いす）ごと転落し、その下敷きとなっているところを発見されましたが、頭や体を負傷し、その場でなくなりました。

事故現場は、住宅地や畑が広がる地域に位置し、幅5メートル50センチの川が流れており、水はわずかしがなく、道沿いにはガードレールなどがありませんでした。

【ポイント】

四輪で走行する乗り物でも必ずしも安全ではありません。ハンドル操作を誤るなどによってシニアカーと一緒に転落して下敷きとなり、重症化することもあります。便利である一方、事故のリスクもつきものです。

安全に配慮し、周囲の状況に注意することが重要です。



声かけをお願いします!

家庭や地域全体で、「水路やため池に気をつけて」の声かけを行いましょう。



福山市役所 土木管理課

〒720-8510 福山市東桜町3番5号
TEL.084-928-1079

水路等転落事故防止対策の詳細はこちら▶

